

文化情報誌

たわわ

2021 No.113

「たわわ」というタイトルには「小さな情報がたくさん集まって多くの実を結ぶように」という期待が込められています。

人に楽しんでもらえる演奏を



「人に負けない演奏」から 「人に楽しんでもらえる演奏」へ 演奏家 藤井 空さん

音楽を始めたのは5歳の頃、音楽好きな父に連れられて地元岡山県にあるピアノ教室に通い始めたのがきっかけです。また、小学3年生からはエレクトーンを、それから同じくらしい時期に父からトランペットも教わりました。

初めの頃は練習が嫌いでしたが、やらないと両親に叱られるので仕方なくやっていたね。それでも、発表会でもらえる拍手が好きだったことや、コンクールのような周りとは比べられる機会があったことで、次第に練習をするようになり、音楽にのめり込むようになりました。周りとは比べられることで、「人に負けない演奏」をしたい気持ちが強くなり、練習に取り組みました。今思えば、あの頃は人と競争するということが楽しかったのでしょうか。



父と

このような音楽漬けの生活の中で、エレクトーンのコククールで上位入賞することがあったことから音楽をもっと極めたいと思うようになり、高校卒業後、地元を離れ横浜の音楽院に通い始めました。そこで学びながら作曲と演奏を続けていくうちに、いくつかのバンドにサポートメンバーとして呼んでもらい、ライブ演奏するようになりました。これをきっかけに自分の世界というものが広がり、「人に負けない演奏」から「人に楽しんでもらえる演奏」がしたいと思うようになりました。

作曲活動と演奏活動

作曲をするときのこだわりは、どうやったら格好いいコード進行（和音の順番・組み合わせ）になるかです。コード進行を工夫し、アイデアをひねり出しながら作曲をしています。出来上がってみると結果的に不思議な響きの曲になっていることも多く、いつも作品のタイトル決めには苦労してしまいます。

演奏活動では思い出深い経験があります。それは、平塚市で行われた「第26回湘南ひらつか第九のつどい」です。第九の演奏はエレクトーンで行いましたが、エレクトーンのための楽譜がなかったので譜面の書き起こしから始めました。それに加えて、オーケストラで使う楽器の音のプログラミング、さらに演奏



「第26回湘南ひらつか第九のつどい」の様子

の練習と、とても苦労しました。

大変なことも多くありましたが、その分達成感もあって、演奏が終わった後に大きな拍手をもらったことが嬉しかったです。機会があったらまた演奏してみたいですね。

ストリートピアノの魅力

3年程前から音楽仲間の影響を受けて、YouTubeで動画配信を始めました。最近では各地でストリートピアノが置かれているので、そこでの演奏を配信することが多いです。

演奏中はピアノの周りに多くの人が集まって聴いてくれるので、自分からその方たちに声をかけて撮影をお願いしています。聴いてくれる人と気軽に話せるこの距離感が、ストリートピアノならではの魅力ですね。

最近では、ライブに来てくれた人から動画を見て私を知ったと声をかけてもらうことが増えてきたので、YouTubeの活動を始めてよかったと思います。

これからの活動

私が音楽活動で心掛けていることは人に楽しんでいただくことです。

今はカフェやジャズバーに呼んでもらってライブをすることが多いですが、平塚にも新しいホールができると聞いています。より多くの人に楽しさを届けるためにも是非ホールでリサイタルなんかもできたらいいですね。

これからも聴いてくれる人に「楽しんでもらえる演奏」を続けていきたいです。



ジャズバーでの演奏の様子

【プロフィール】

藤井 空

幼少よりピアノ、エレクトーン、トランペットを始める。高校卒業後はヤマハ音楽院エレクトーン科に通う。卒業後はピアノ、トランペット奏者としてビッグバンド、コンボ、歌伴、CDやMV参加などジャンルを問わずさまざまなステージに立つ。また音楽教室にて指導者としても活動。2012年ヤマハエレクトーンコンクール第5位。2013年より平塚市在住。最近はYouTubeの自らのチャンネルでも精力的に動画配信を行い、それをきっかけとしたソロコンサートも数多く行っている。



巡って学ぶ平塚学入門①

「歩いて実感 宇宙の広がり」

本号より新連載「巡って学ぶ平塚学入門」が始まります。2019年夏に開催した平塚市博物館の特別展「平塚学入門」の内容を、「現地に行って学ぶ」というコンセプトで厳選しご紹介していきます。ご期待ください。

さて、第1回は「歩いて実感 宇宙の広がり」です。皆さんもご存じのとおり、平塚市は地球という惑星の北半球中緯度にある日本という国の神奈川県の中に位置しています。そしてその地球は、太陽のまわりを回る太陽系のメンバーで、その太陽系は星々が1000億個以上も集まり渦を巻く天の川銀河の片隅にあります。さらに天の川銀河は…と続いていくのですが、その広がりや人間の想像をはるかに超えています。地球ですらその直径は約1万3000 km…最も近い恒星である太陽でさえ約1億5000万km離れているのです。

数字が大きすぎてなんだか目眩（めまい）がしそうですが、少しでもわかりやすくするために、試しに太陽の直径を1 mとしたときの太陽系の各惑星までの距離を平塚の街中に落とし込んでみましょう。1 mの太陽は平塚駅の東改

札口に置くことにしましょうか。すると、太陽に最も近い惑星・水星までの距離は42 m……北口の階段を降りたところでしょうか。金星までは78 m、地球までは107 m、火星までは163 mです。地球は静岡銀行のあたり、火星はMNビルに入ったあたりですね。ここから一気に遠ざかります。木星までは559 m（国道1号線を渡ったあたり）、土星までは1027 m（ちょうど博物館あたり）、天王星までは2100 m（総合公園を越えたあたり）、海王星まではなんと3200 m（松が丘小学校あたり）です。なお、この縮尺だと地球の大きさはたった9 mm。いかに宇宙が広いか、その中の地球が小さいかがわかりますね。

皆さんも実際に歩いて、ぜひ宇宙の広がりを実感してみてください。



平塚駅東改札口前に直径1 mの太陽を置いたときの地球の軌道。このとき地球の大きさは1 cmに満たない。（Google Earth Proを用いて作成）

リトアニアだより(13)

日本とリトアニア オリンピックの架け橋

平塚市は、リトアニア共和国カウナス市と教育を中心としたさまざまな交流を行ってきました。これまで「スクールアンバサダー」としてカウナス市にあるパネムネ小学校の児童が平塚を訪問し、港小学校の児童と交流を積み重ねてきた他、教員同士の相互視察なども行ってきました。

この度、平塚市との交流事業の一環として、カウナス市とカウナス市教員資格センターが共催し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて「日本とリトアニアオリンピックの架け橋」をテーマとした絵画コンテストが実施されました。カウナス市内にある学校27校に通う



1年生から12年生まで（日本の小学1年生から高校3年生）が参加し、約300点の作品の応募がありました。この作品の中から、芸術性、審美性、創造性を基準に厳格な審査が行われ、選ばれた30点の絵画が平塚に届きました。各作品には、日本の文化を感じる風景などが盛り込まれており、リトアニアの児童・生徒達が日本

について学び、創造し、制作してくれたことが伝わってきます。

平塚市ではこの絵画を「東京2020ホストタウン展示in平塚「日本とリトアニアオリンピックの架け橋」と題して、5月24日（月）から6月13日



「市役所での展示の様子」

（日）まで平塚市役所や市内商業施設で展示しました。色彩鮮やかで個性溢れる作品の数々に、多くの方が足を止めて鑑賞されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのような対面での相互交流は難しいですが、今回の絵画展示をはじめ、オンラインやSNSなども活用し、新しい生活様式にあった交流を模索する中で、リトアニアの子ども達が描いた素晴らしい絵画を平塚で展示することが出来ました。カウナス市と平塚市、次代を担う子ども達の友情が末永く続くよう、これからも交流を続けていきましょう。

プロにきく!

劇場の楽しみ方

第1回 演劇

2022年3月、見附台周辺地区に「ひらしん平塚文化芸術ホール」が開館します。

劇場で生の音楽や演劇に触れたことはありますか？

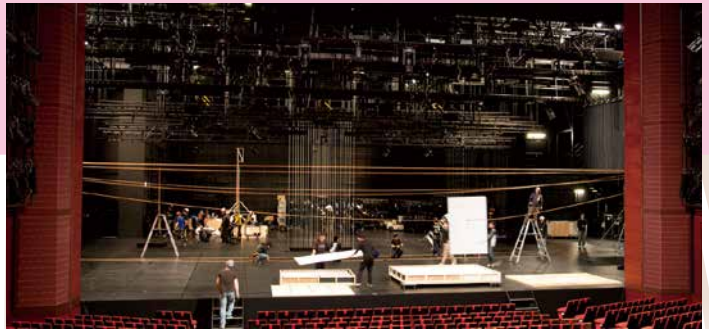
ここでは、劇場体験初心者に向けて、さまざまな専門家に楽しみ方を教えてもらいます。

第1回のテーマは「演劇」。K A A T 神奈川芸術劇場の広報担当佐藤さんにお尋ねしました。

Q. 劇場でお芝居を観る魅力は？

A. 劇場体験として思い出が記憶に残ることでしょうか。

物語を楽しむ、俳優の演技を生で感じる、照明や音響に包まれた空間や、入場するまでの時間も含めて素敵な思い出となるのが魅力だと思います。



舞台の仕込みの様子
(K A A T 神奈川芸術劇場ホール)

Q. 演劇って難しそうなおイメージがあるけれど、初心者でも楽しめる？

A. もちろんです！

作品に興味がある、出演者やスタッフに興味がある、日常から離れた空間に浸りたいなど、きっかけも楽しみ方も人それぞれ。ご自身の心の赴くままに楽しんでください。

Q. 観劇中の基本的なマナーは？

A. 携帯の電源はOFF。撮影や録音、飲食はご遠慮ください。視界を遮らない、お静かにするなど周りのお客様へのご配慮をお願いします。(今はマスクの着用もお願いしております。)

佐藤さん、ありがとうございました。演劇を劇場で楽しむのに、難しい準備は必要なさそうですね。

劇場では、舞台の上の人と同じ場所で同じ時間を過ごします。舞台上で繰り広げられる世界と同じ空間に自分がいるという不思議な体験を、ぜひ味わってみてください。

物語にのめりこんでつい身を乗り出す方もいますが、それは後ろの席の人の視界を遮ってしまうことになります。

背もたれに背中をつけて観劇する、帽子や大きなヘアアクセサリーで人の視界を遮らない、身動きした時に音が出る服を身に着けないなど、お出かけ前には基本的なマナーを思い出して、服装チェックもしてみてください。

今回のプロは・・・

K A A T 神奈川芸術劇場

モノをつくる[芸術の創造]、人をつくる[人材の育成]、まちをつくる[賑わいの創出]の「3つのつくる」をテーマとする創造型劇場です。今年度より長塚圭史氏が芸術監督に就任。社会に「ひらかれた」劇場を目指し、優れた舞台芸術作品を創造・発信しています。

所在地：横浜市中区山下町281



平塚市文化振興基金に御協力を

平塚市文化振興基金は、市民文化の振興を図るために活用されています。基金に御協力くださる方は、平塚市文化・交流課まで御一報ください。



🎵お家で楽しむ文化芸術🎵

ご自宅で気軽に文化芸術を楽しんでいただけるように、本市に縁のあるアーティストの皆さんが作成した動画を配信しています。心と体のリフレッシュにぜひお役立てください。

右の2次元バーコードよりアクセスできます。

検索ワード



発行 平塚市文化・交流課 | 〒254-8686 平塚市浅間町9-1

電話 0463-32-2235 FAX 0463-21-9756 E-mail bunkoh@city.hiratsuka.kanagawa.jp

令和3年(2021年)6月15日発行 右の2次元バーコードから文化情報誌「たわわ」へアクセスできます。

